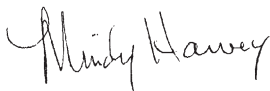
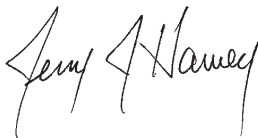
MUSIC

IS NOT AN INDULGENCE...

TRIPLE.FI | SUPER.FI | METRO.FI

ユーザーガイド

...IT'S A
NECESSITY.
JUST TRY LIVING WITHOUT IT.

お客様各位

究極のリスニング環境を提供するUltimate Ears（UE／アルティメイト・イヤーズ）社のカナル型イヤフォンをお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。コンピュータベースのミュージシャンのためにクリエイティブなツールを提供するリーディングプロバイダのM-Audio（エムオーディオ）が自信を持ってお勧めするUEは、10年以上に渡りU2、リンキン・パーク、マドンナ、メタリカ、ロッド・スチュアート、ビッグ&リッチ、シールを始めとする数多くのアーティストへカスタムイヤモニターを提供してきました。この長年に渡る経験を活かし原音に忠実な音を再現する革命的な新技術を開発しました。

UEの有するプロフェッショナル向けイヤモニターのノウハウを凝縮してデザインしたイヤフォンは、コンシューマー向けイヤフォンマーケットで最高峰とも言える音質を誇り、ロープライスながらプロフェッショナルの音をお楽しみ頂けます。
リスニングが「キー」となるこの業界において、UEは究極のリスニング環境の実現を目指して専心しています。UE製品に関するご感想やご提案などがございましたら、お気軽にお問い合わせを頂けます様お願い致します。

Mindy Harvey, Co-Founder
UE President

Jerry Harvey, Co-Founder
UE Chief Technology Officer

UEでは、新製品やサウンド業界における新技術のお知らせを随時お送りしています。詳しくは、UEのウエブサイト www.ultimateears.com またはM-Audioの日本語ウエブサイト www.m-audio.jpをご覧下さい。

目次

警告!

イヤフォンをご使用になる前に「警告！」「正しいご使用方法」「安全なリスニングと適切な使用について」の項目を必ずお読み下さい。

⚠ 聴力の損傷を受けないために使用するオーディオ機器の最大音量の50%を超えない様にし1日の使用時間を1時間以内にすることを推奨します。

⚠ イヤフォンを耳へ挿入する前に必ず音楽のボリュームを下げて下さい。イヤフォンを耳へ挿入し装着してから徐々に適度な音量になるまでボリュームを上げて下さい。

⚠ 大音量での使用（85dB A 以上）または長時間の使用（1日に1時間以上）は、あなたの耳に永久的な損傷を与える場合があります。耳鳴りや不快感の症状がある場合には、音楽の音量が大き過ぎることを示しています。

⚠ 聴力の損傷は徐々に進行し蓄積されて行くことがあります。このため、自覚症状が無いままに進行して行く場合があります。聴覚障害を知るには、聴覚/聴力診断と医師による診断が必要になります。しかしながら、下記の症状が現れた場合には耳鼻科の医師の診断を受診して下さい。

- 耳鳴りがする様になった。
- 会話の聴き取りが困難になった。
- 音がこもる/ぼやける様になった。

正しいご使用方法

健全な聴覚は、生活の質や楽しさを享受する上で極めて重要です。聴覚を保護するには、長期に渡り健全な聴覚を保護できる様な方法で音楽を聴く必要があります。OSHA（米国労働安全衛生管理局29CFR1910.95）によると以下の音圧レベル（SPL）が人体に影響を与える聴取時間とされています：

最大音圧レベルdB（A）	人体に影響を与える聴取時間（1日）
90	8時間
95	4時間
100	2時間
105	1時間
110	30分

聴覚の損傷を防ぐために115dB（A）より高い音圧レベルで聴くことを避けて下さい。
詳細はOSHAのウエブサイト（www.osha.gov）でご覧下さい。

OSHAの聴取時間と音圧レベルは、限界値でありこの先聴覚障害が起こらないことを保証するものではありません。これらのことから、人体に影響を与える聴取時間と聴力の損傷を受けないために、使用するオーディオ機器の最大音量の50%を超えない様にすることと1日の使用時間を1時間以内にすることを推奨します。大音量での使用（85dB A 以上）は、あなたの耳に永久的な損傷を与える場合があります。

⚠ 周囲の音を遮断する事で危険が伴う様な環境下では、イヤフォンの使用は避けて下さい。車の運転中、自転車に乗っている間、歩行中、機械の操作時等にはイヤフォンを使用しないで下さい。

⚠ イヤフォンを水の中に入れたり、水気のある場所で使用しないで下さい（P.20のイヤフォンの取扱いとメンテナンスを参照）。

⚠ 使い慣れていないオーディオ機器（飛行機等）でイヤフォンを使用する場合、オーディオ機器の音量を低く設定し突然大きな音が生じない様にして下さい。この様な状況下では、サウンドレベル・アテニュエータを併用することで異常に高いサウンド出力を緩衝することができます（P.21参照）。

⚠ イヤフォンを幼児の手の届かない場所でお使い下さい。本製品には、小さな部品やケーブルが含まれており飲み込むと窒息の危険性があります。

⚠ イヤループに無理な力を加えないで下さい。内蔵したワイヤーが外に飛び出しケガをする恐れがあります。

安全なリスニングと適切な使用について

⚠ 耳に不快感が生じた場合やイヤチップを挿入することが困難な場合（P.16の「イヤチップを装着する」やP.22の「イヤチップ使用上のご提案」を参照）には、イヤフォンを取り外して下さい。耳は敏感ですので、耳の奥に無理に押し込まないで下さい。

⚠ 使用後に聴力が低下したり普段より耳あかが増えたり不快感等がある場合には、定期的に耳鼻科を受診して下さい。

⚠ イヤフォンは個人の利用を目的とします。イヤフォンを共有する場合、ご使用の前後にイヤチップを外し除菌シート等を使用してイヤフォンを掃除して下さい。

Triple.fi 10 Pro

Triple.fi 10 Proは、カスタムイヤモニター業界で圧倒的なシェアを誇るUltimate Earsの正に究極の音質を提供するプロ向け技術を応用しジャズ、クラシックなどのワイドレンジソースに最適なカナル型イヤフォンです。Ultimate Earsの最高峰の2ウェイ3スピーカーのカスタムイヤモニターであるUE-10 PROのアイディアを反映したTriple.fi 10 Proは、「中高音域専用のバランスド・アーマチュア方式の小型スピーカー」と「低音域専用のバランスド・アーマチュア方式の中型スピーカー2基」を搭載し2ウェイ3スピーカーで駆動させることにより、バランスド・アーマチュア方式特有の優れた写実的な精密性と高解像度を維持しながらクラス最高峰のワイドレンジ化を実現しています。これらに加え、優れたパッシブクロスオーバーテクノロジーによるネットワークと特許のデュアルボア構造（中高音域と低音域をそれぞれ独立して出力する楕円型ホール）に特別にデザインされたオーディオフィルタを搭載することで、クラス最高峰の非常にクリアな中高音域とこのサイズからは想像できない深みのある豊かな低音域を両立することを可能にしました。

Super.fi 5 Pro

Super.fi 5 Proは、カスタムイヤモニター業界で圧倒的なシェアを誇るUltimate Earsの正に究極の音質を提供するプロ向け技術を応用しジャズ、クラシックなどのワイドレンジソースに最適なカナル型イヤフォンです。世界最初の2ウェイ2スピーカーのカスタムイヤモニターであるUE-5 PROのアイディアを反映したSuper.fi 5 Proは、「中高音域専用のバランスド・アーマチュア方式の小型スピーカー」と「低音域専用のバランスド・アーマチュア方式の大型スピーカー」を搭載し2ウェイ2スピーカーで駆動させることにより、バランスド・アーマチュア方式特有の優れた写実的な精密性と高解像度を維持しながらワイドレンジ化を実現しています。これらに加え、優れたパッシブクロスオーバーテクノロジーによるネットワークと特許のデュアルボア構造（中高音域と低音域をそれぞれ独立して出力する楕円型ホール）に特別にデザインされたオーディオフィルタを搭載することで、非常にクリアな中高音域とこのサイズからは想像できない深みのある豊かな低音域を両立することを可能にしました。

Super.fi 5 EB

Super.fi 5 EBは、カスタムイヤモニター業界で圧倒的なシェアを誇るUltimate Earsの正に究極の音質を提供するプロ向け技術を応用しR&B、HipHop、ハウス、テクノなどの低音重視ソースに最適なカナル型イヤフォンです。ドラマー、ベースプレイヤー、ヒップホップアーティストからハイパワーな低音域を望む声を受けてデザインされたカスタムイヤモニターのUE-7 PROやUE-Hybridのアイディアを反映したSuper.fi 5 EBは、「中高音域専用のバランスド・アーマチュア方式の小型スピーカー」と「低音域専用の13.5mmダイアフラム採用ダイナミック方式の大型スピーカー」を搭載し2ウェイ2スピーカーで駆動させることにより、バランスド・アーマチュア方式特有の優れた写実的な精密性と高解像度を維持しながらクラス最高峰のハイパワーな低音域を実現しています。これらに加え、優れたパッシブクロスオーバーテクノロジーによるネットワークと特許のデュアルボア構造（中高音域と低音域をそれぞれ独立して出力する楕円型ホール）に特別にデザインされたオーディオフィルタを搭載することで、非常にクリアな中高音域とクラス最高峰のハイパワーな低音域を両立することを可能にしました。

Super.fi 3 Studio

Super.fi 3 Studioは、カスタムイヤモニター業界で圧倒的なシェアを誇るUltimate Earsの正に究極の音質を提供するプロ向け技術を応用しPOPSなどのボーカルソースに最適なカナル型イヤフォンです。フルレンジのカスタムイヤモニターであるUE-3 Stageのアイディアを反映したSuper.fi 3 Studioは、最新のフルレンジに対応したバランスド・アーマチュア方式の中型スピーカーを採用することにより、バランスド・アーマチュア方式特有の優れた写実的な精密性と高解像度を維持しながらフルレンジを実現しています。シングルボア構造（楕円型ホール）に特別にデザインされたオーディオフィルタを搭載することで、非常にクリアな中高音域とこのサイズからは想像できない豊かな低音域を両立することを可能にしました。プロに賞賛された激しい動きでもイヤフォンが外れにくいイヤループデザイン、26dBの遮音性を提供するイヤチップ10個、万が一のケーブル断線にも柔軟に対応するイヤフォン本体とケーブルが脱着できるデザインなど、Super.fi 3 Studioはプロの現場から生まれた優れた機能性をも兼ね備えています。

Metro.fi 2

Metro.fi 2は、カスタムイヤモニター業界で圧倒的なシェアを誇るUltimate Earsの正に究極の音質を提供するプロ向け技術を応用しPOPS、R&B、HipHop、ハウス、テクノなどに最適なカナル型イヤフォンです。Metro.fi 2は、最新のフルレンジに対応したダイナミック方式の大型スピーカーを採用することにより、ダイナミック方式特有のハイパワーな低音域を実現しロープライスながらUltimate Earsサウンドを得ることができます。Ultimate Earsの音響理論に基づいたキャビネットデザインにより、クリアな中高音域とこのサイズからは想像できない豊かな低音域を両立することを可能にしました。

主な特徴

特徴	利点
耐久性の高い構造	小型、軽量、耐久性の高いデザインでアクティブなライフスタイルに最適
スタイリッシュなデザインのイヤフォン	直感的なフォーム、スタイリッシュなデザイン、洗礼されたカラー
周囲の音をカットする各種イヤチップ	周囲の音を適度にカットするシングルフランジ・シリコンイヤチップ6個（小2個、中2個、大2個）、ダブルフランジ・シリコンイヤチップ2個が付属。Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super.fi 3 Studioには、周囲の音を高レベルでカットし究極の密閉感を得られるフォームチップ2個も付属
プロに賞賛されたイヤループデザイン	ステージ上で激しいパフォーマンスを行うプロに賞賛されているカスタムイヤモニターと同様の「イヤループデザイン」をTriple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioにも採用。イヤループデザインは、耳にかかる部分に自由に変形可能な長さ約5.5cmのワイヤーが組み込まれているため、耳の形に合わせた形状へ簡単に変更が可能
万が一のケーブル断線にも柔軟に対応	イヤフォンの故障要因の大半は、ケーブルの断線です。Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioには、カスタムイヤモニターと同様の「イヤフォン本体とケーブルが脱着できるデザイン」のため、別売のスペアケーブルを購入し交換するだけで末長く愛用可能
低摩擦ケーブルを採用	高い耐久性と縺れ防止を両立
安心の保証期間	お買い上げの日から2年間有効（要ユーザー登録） *ケーブル等のアクセサリは保証対象外

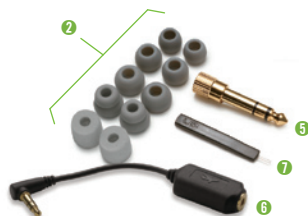
パッケージに含まれる同梱物

- ユーザーガイド（本書）
- イヤフォン（約130cmのケーブル、ケーブルアジャスタ、金メッキ処理の⅛入力端子）
- イヤフォンチップキット：
- シングルフランジ・シリコンイヤチップ6個（小2、中2、大2）、ダブルフランジ・シリコンチップ2個、フォームチップ2個 **
- ¼アダプタジャック *
- サウンドレベル・アテニュエータ **
- クリーニング・ツール **
- メタリックケース **
- レザーケース ***

* Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EBのみ同梱
** Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioのみ同梱
*** Metro.fi 2のみ同梱
※ 製品の仕様ならびに同梱内容は予告無く変更する場合があります。

イヤフォンのコンポーネント

❶ イヤフォン（①Triple.fi 10 Pro、②Super.fi 5 Pro、③Super.fi 5 EB、④Super.fi 3 Studio、⑤Metro.fi 2）
❷ イヤチップ
❸ イヤコンダクター（イヤチップを取り外した場合のみ露出）
❹ ケーブル
❺ 金メッキ処理の¼インチアダプタジャック *
❻ サウンドレベル・アテニュエータ **
❼ クリーニング・ツール **
❽ ⅛インチ入力端子（非表示）
❾ ケーブルアジャスター：Yジャンクション（詳しくはP.18/19をご覧下さい）

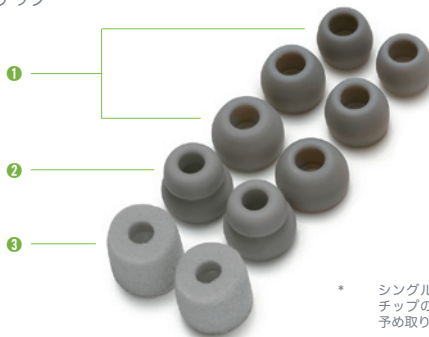
* Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EBのみ同梱
** Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioのみ同梱
※ 製品の仕様ならびに同梱内容は予告無く変更する場合があります。

Super.fi 5 Pro
②
Super.fi 5 EB
③
Triple.fi 10 Pro
①
Super.fi 3 Studio
④
Metro.fi 2
⑤
メタリックケース
レザーケース

イヤチップを装着する

耳の形状は人によって異なるため、イヤフォンには各種のイヤチップが同梱されています。様々なイヤチップをお試しになり最適な着け心地のイヤチップをお選び下さい。

シングルフランジ・シリコンイヤチップは、耳への装着感が良く使い方も簡単なので多くの方に人気のあるイヤチップです。究極の装着感をお望みなら、密閉感の高いフォームイヤチップをお試し下さい（詳細は「イヤチップご使用に関してのご提案」を参照して下さい）。

Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioには、シングル/ダブルフランジ・シリコンイヤチップ、フォームイヤチップが同梱されています。Metro.fi 2には、シングル/ダブルフランジ・シリコンイヤチップが同梱されています。

1. シングルフランジ・シリコンイヤチップ（小2個、中2個、大2個）
2. ダブルフランジ・シリコンイヤチップ
3. フォームイヤチップ

* シングルフランジ・シリコンイヤチップの内、1セット（中2個）は予め取り付けられています。

イヤチップの装着

イヤチップを軽く指でつまんで回転させながらイヤコンダクターに装着/取り外しができます。イヤチップは、イヤコンダクター上にしっかりと固定されている必要があります。イヤチップを一旦固定すると、イヤコンダクターは隠れた状態になります。

フランジ・シリコンイヤチップの取扱いとクリーニング

フランジ・シリコンイヤチップは何度も繰り返し使用できますが、使用する毎に除菌シートでクリーニングする必要があります。イヤチップは、定期的に取り外して中性洗剤で洗い、完全に乾燥させてからイヤチップを再度イヤコンダクターに装着して下さい。

フォームイヤチップの取扱い

Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioには、フォームイヤチップが付属しています。フォームイヤチップは使い捨てタイプですので、汚れた場合や変色した場合には別売のフォームイヤチップと取替えて下さい。フォームイヤチップは、M-Audio正規ディーラーにて購入することができます。

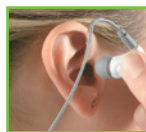
オーディオ機器に接続する

イヤフォンは、⅛端子を装備したオーディオ機器と接続することができます。Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EBでは、同梱した¼アダプタを使用してその他多くのオーディオ機器にも接続することができます。

Triple.fi 10 Pro、Super.fiシリーズ（5 Pro、5EB、3 Studioの装着方法）

快適さを高め最適なリスニング環境を実現するためには、耳へ確実にフィットさせることが重要です。確実にフィットさせることで周囲の音が遮断され最高の音質を得ることができます。

手順 1

左耳用イヤフォン（本体に“L”と表記）と右耳のイヤフォン（本体に“R”と表記）を確認します。ケーブルが上へ向く様にイヤフォンを持ち、イヤチップを耳の穴へゆっくり挿入します。

手順1

手順 2

ケーブルが上へ向いたままの状態でイヤチップが耳の穴に快適に収まる様に少し内側へ押します。この時には、無理に押し込まないで下さい。

手順2

手順3

次に最適な密閉感が得られる様、イヤフォンをゆっくりと外側へ少し戻します（注意：装着方法に問題がある場合はP.22の「イヤチップ使用上のご提案」を参照して下さい）。

手順3

手順4

イヤループが耳の後ろ側を通る様にしてイヤフォンを固定します。ケーブルは耳の後ろから背中側または胸側にぶら下げます。Y字のつなぎ目付近にあるスライダを上下に調節してケーブルの長さを調節します。オーディオ機器の音量を徐々に上げて行くとイヤフォンからサウンドを聴くことができます。

手順4

Metro.fi 2の装着方法

快適さを高め最適なリスニング環境を実現するためには、耳へ確実にフィットさせることが重要です。確実にフィットさせることで周囲の音が遮断され最高の音質を得ることができます。

手順 1

左耳用イヤフォン（本体に“L”と表記）と右耳のイヤフォン（本体に“R”と表記）を確認します。ケーブルが下へ向く様にイヤフォンを持ち、イヤチップを耳の穴へゆっくり挿入します。

手順 2

ケーブルが下へ向いたままの状態でイヤチップが耳の穴に快適に収まる様に少し内側へ押します。この時には、無理に押し込まないで下さい。

手順3

次に最適な密閉感が得られる様、イヤフォンをゆっくりと外側へ少し戻します（注意：装着方法に問題がある場合はP.22の「イヤチップ使用上のご提案」を参照して下さい）。

手順4

Y字のつなぎ目付近にあるスライダを上下に調節してケーブルの長さを調節します（左の手順4イメージ参照）。オーディオ機器の音量を徐々に上げて行くとイヤフォンからサウンドを聴くことができます。

イヤフォンを適切に取り外す

先ずイヤフォンを指でつまみ、ほんの少しだけ内側に押すと密閉状態が解消されます。次にイヤフォンをゆっくりと耳から外に取り出します。イヤフォンは次回の使用に備えてクリーニングした後ケースに収納して下さい。

注意：イヤフォンを外す時にはケーブルを引っ張らない様注意して下さい。断線の要因となります。

イヤフォンの取扱いとメンテナンス

- イヤフォン使用後は毎回必ず除菌シートでクリーニングして下さい。
- イヤフォンを水気のある場所や温度の高い所で保管/使用しないで下さい。
- イヤコンダクターは、クリーニング・ツール等で定期的に掃除し清潔に保って下さい。
- イヤチップを定期的にクリーニングし交換して下さい。
- イヤフォンが損傷しない様取扱いに気をつけて下さい。イヤフォンを落下/衝突させると部品が損傷します。
- 耳からイヤフォンを取り出す時ケーブルを引っ張らない様に注意して下さい。
- オーディオ機器からイヤフォンの接続を外す場合、ケーブルを引っ張らない様に注意して下さい。
- イヤフォンを使用ない時は、ケースに収納し安全な場所に保管して下さい。

クリーニング・ツールを使用する

Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioには、クリーニングツールが付属しています。

❶ イヤチップを取り外しイヤコンダクターの外側を除菌シートで拭きます。
❷ クリーニング・ツールでイヤコンダクターの内側を上下させて溜まったゴミを取り除きます。
❸ 除菌シートでイヤコンダクターをクリーニングして清潔なイヤチップを装着します。

サウンドレベル・アテニュエータ

Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studioには、サウンドレベル・アテニュエータが付属しています。使い慣れていないオーディオ機器（飛行機、公共のアクセスポート等）でイヤフォンを使用する場合には、サウンドレベル・アテニュエータを併用することで異常に高いサウンド出力を緩衝することができます。

サウンドレベル・アテニュエータを使用するには、イヤフォンケーブルの⅛端子をサウンドレベル・アテニュエータに接続し、アテニュエータをオーディオ機器へ接続します。

サウンドレベル・アテニュエータ

イヤチップ使用上のご提案

適度な密閉感を得られない場合や不快感を伴う場合には、他のイヤチップをお試し下さい。

シリコンイヤチップを使用している場合には、一度フォームチップをお試し下さい。究極の装着感が得られると思います。

シリコンイヤチップで密閉感が得られない場合：
シリコンイヤチップの外側を少しだけ湿らせてから耳の穴へ挿入すると、耳の中の適切な場所に収まりやすくなり密閉感が増します。

耳の穴に入れるのが困難な場合：
先ず左のイヤフォン（「L」表記）と右のイヤフォン（「R」表記）を確認します。耳の背をつかんで少し引っ張り（上向きに外側へ）耳の穴を広く開きます。イヤフォンを軽く回しながら耳の穴へ挿入して下さい。

フォームイヤチップの装着方法：
フォームイヤチップを親指と人差し指で軽くつまんでフォームを圧縮してから耳の穴へ挿入して下さい。挿入後5秒間ほど待つことでフォームが膨張し密閉します。

トラブルシューティング

Q：サウンドがだんだん聴こえ難くなる場合

A： 長時間の使用に伴い聴こえ難くなった場合には、クリーニング・ツール等を使用してイヤコンダクターの内側/外側を掃除し汚れを取り除きます。

Q：サウンドが出力されない場合

A： サウンドが聴こえない場合、まずオーディオ機器へイヤフォンが適切に接続されていることを確認してから、オーディオ機器の音量を少しずつ上げてみます。それでもサウンドが出力されない場合は、イヤフォンとケーブルの接続を確認します。

上記以外の問題が発生した場合や本製品に関するお問い合わせは、Triple.fi 10 Pro、Super.fi 5 Pro、Super.fi 5 EB、Super. fi 3 Studio、Metro.fi 2の日本輸入代理であるM-Audioのカスタマーサービスにご連絡下さい。

※ M-Audioへお問い合わせ頂く場合には、M-Audioでのユーザー登録を完了している必要があります。詳しくはP.27「制限付き製品保証」の項目を参照してユーザー登録を完了して下さい。

アビッドテクノロジー株式会社｜エムオーディオ事業部カスタマーサポート

お電話：052-218-0859（平日10：00〜12：00／13：00〜17：00）

e-mail：win-support@m-audio.jp（日本語）

e-mail：e-support@m-audio.jp（English）

www.m-audio.jp

製品の特性

特性	スピーカータイプ	入力感度	インピーダンス	重量	周波数特性	ノイズアイソレーション
Triple.fi 10 Pro	バランスド・アーマチュア方式の2ウェイ3スピーカー	117dB/mW	32Ω	約17g	10Hz〜17kHz	26dB
Super.fi 5 Pro	バランスド・アーマチュア方式の2ウェイ2スピーカー	119dB/mW	21Ω	約17g	20Hz〜16kHz	26dB
Super.fi 5 EB	バランスド・アーマチュア方式とダイナミック方式の2ウェイ2スピーカー	119dB/mW	11Ω	約20g	20Hz〜16kHz	16dB
Super.fi 3 Studio	フルレンジのバランスド・アーマチュア方式	115dB/mW	13Ω	約14g	20Hz〜13kHz	26dB
Metro.fi 2	フルレンジのダイナミック方式	104dB/mW	16Ω	約20g	20Hz〜13kHz	16dB

別売のアクセサリ

M-Audioでは、末長くイヤフォンをご利用頂くためにアクセサリも販売しています。万が一ケーブルが断線したりイヤチップが汚れた場合にも安心です。アクセサリの詳細は、M-AudioのWebサイトをご覧下さい。

Webサイト：http://www.m-audio.jp
オンラインストア：http://web.m-audio.jp/store/

取り扱い製品
シングルフランジ・シリコンイヤチップSサイズ10個セット／カラー：グレー
シングルフランジ・シリコンイヤチップMサイズ10個セット／カラー：グレー
シングルフランジ・シリコンイヤチップLサイズ10個セット／カラー：グレー
シングルフランジ・シリコンイヤチップSサイズ10個セット／カラー：ブラック
シングルフランジ・シリコンイヤチップMサイズ10個セット／カラー：ブラック
シングルフランジ・シリコンイヤチップLサイズ10個セット／カラー：ブラック
ダブルフランジ・シリコンイヤチップ10個セット／カラー：グレー
ダブルフランジ・シリコンイヤチップ10個セット／カラー：ブラック
フォームイヤチップ20個セット
スペアケーブル／カラー：クリアグレー
スペアケーブル／カラー：ブラック
スペアケーブル／カラー：ホワイト

プロフェッショナル向けのカスタムイヤモニター

UEでは、数多くの有名なプロのミュージシャンたちが世界中のステージで使用しているカスタムモデルのイヤモニターを提供してきました。10年以上にわたりUEはプロのミュージシャン向けのイヤモニターのプロバイダーとして業界随一を維持し、プロフェッショナル・イヤモニター業界では現在80%のシェア（2006年7月現在Ultimate Ears社調べ）を誇ります。最高のカスタム・イヤモニターをお求めなら、是非ともUEのウエブサイトwww.ultimateears.comでプロフェッショナル用の製品ラインをご覧下さい。音楽のジャンルに合うプロフェッショナルな製品をお選び頂き、お好みの色でご注文下さい。耳鼻科で耳の型をとってお送り頂ければ、2週間以内にお客様だけのために作られたプロフェッショナルなイヤモニターが出来上がります。

※　カスタムイヤモニターに関しては、UEまたは日本のカスタムイヤモニター代理店へお問い合わせ下さい。

Ultimate Ears, LLC.
5 Jenner Street • Suite 100 • Irvine, CA 92618
www.ultimateears.com

欧州連合のための証明

この製品は、ヨーロッパのEMC Directive 89/336/EECに従います。ヨーロッパのスタンダードEN 55103（1996）Parts 1と2、住居（E1）で小さい産業の（E2）環境のために適用できるテストとパフォーマンス基準を満たします。

制限付き製品保証

制限付き製品保証で何が保証されるのか?

M-Audioでは、安全上のご注意に基づいて適切に使用されている場合に限り、本製品をお買い上げ頂いた日より二年間が保証期間となり修理は無償で行います。しかしながら、不適切な使用方法による破損の場合、ご購入者が所有していない場合、M-Audioでのユーザー登録がお済みでない場合などは保証の対象となりません（初期不良の場合は除く）。

この制限付き製品保証で何が保証されないか？

製品の内部部品がこの製品の保証期間に保証されます。その他の部品やイヤフォンケーブル、アダプタージャック、アテニュエータ、イヤチップキット（追加のイヤチップ）、クリーニングツール、メタリックケース等のアクセサリー/付属品または構成要素は、保証されません。また、本製品と連動/関連する他社のハードウェアやソフトウェアも保証されません。

この保証は、次の様な場合には適応されません。（1）損害、事故、酷使、不正使用、過失、不可抗力、天災または本製品と連動/関連する他社製品に起因した場合（2）M-Audio/UE以外のサービスに起因して損なわれた故障（3）製品または部品を改造した場合またはM-Audio/UEの書面による許諾なしで変更している場合（4）M-Audio/UEが想定できない損害/損傷に起因する場合。

この保証は、M-AudioまたはM-Audio正規ディーラーより新品として購入されたご本人様のみ適用されます。M-AudioまたはM-Audio正規ディーラー以外（個人間での売買/譲渡、未認可業者との売買/譲渡、中古販売）は、この制限付き保証が無効となります。この様な商品の品質、またパフォーマンスについてのすべてのリスクは、消費者にあります。

M-Audioへ製品を送付する場合

M-Audioへ製品を送付する場合には、事前にM-AudioのRA（Return Authorization）番号を取得する必要があります。製品のRA番号を取得するには、M-Audioへご連絡頂ければ、M-Audioのカスタマーサービスが症状などをお伺いしM-Audioへ製品の送付が必要と判断した場合にRA番号を発行させて頂きます。

製品のRA番号を取得後、お名前、郵便番号、ご住所、お電話番号、emailアドレス、具体的な症状を書面に記述し、製品を保護する安全な梱包を施した上、外装パッケージにRA番号を明記しM-Audioまで送付下さい。製品の修理には発送時の送料、返却時の送料と発生し得る手数料はご購入者の負担となります（初期不良の場合は除く）。

ユーザー登録のお願い

M-Audioでユーザー登録を行わなければ製品保証や技術的なサポートをM-Audioで受けることができません。ユーザー登録を行うには、次の2つの方法があります。環境に合わせた方法でユーザー登録を行って下さい。**1.）コンピュータで（一般的なWebブラウザ）M-AudioのWebサイトへアクセスできる方**：M-Audioオンラインユーザー登録ページhttp://web.m-audio.jp/register/にて、必要事項を入力して送信して頂ければ弊社製品のユーザーとして御登録致します。尚、ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。**2.）携帯電話でM-AudioのWebサイトへアクセスできる方**：M-Audioモバイルサイトのオンラインユーザー登録ページhttp://web.m-audio.jp/mobile/にて、必要事項を入力して送信して頂ければ弊社製品のユーザーとして御登録致します。尚、ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。

アビッドテクノロジー株式会社｜エムオーディオ事業部

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-18-10

e-mailでのお問い合わせ先：win-support@m-audio.jp

お電話でのお問い合わせ先：052-218-0859（平日10：00~12：00/13：00~17：00）

責任の制限

法律により可能な最大限の範囲において、この限定保証と上記に定義された賠償は、口頭または書面を問わず、明示または黙示を問わず、限定的でありその他の保証、賠償、条件の全てに代わるものです。M-Audio/UEと関係会社、親会社、関連子会社、供給業者は、商品性の保証と特定目的への適合性を含めて無制限にあらゆる黙示の保証を放棄するものです。適用法において当該の黙示の保証が法的に放棄されない、または排除されない場合、可能な範囲内で当該の黙示の保証におけるいかなる請求も保証期間の満了にあたり失効します。

M-Audio/UE、関連会社、親会社、関連子会社、供給業者のいずれも、製品の使用、不使用、使用の不可に起因するか、または明示または黙示の保証の不履行により生じた特別、偶発的、間接的な損害に対して、請求が基づく法理論にかかわらず、また、M-Audio/UE、関連会社、親会社、子会社、供給業者のいずれも当該の損害の可能性について通知されていたとしても、一切の責任を負いません。

州により偶発的または間接的な損害の除外や制限を許可していないか、黙示の保証期間の制限を許可していません。本保証は特定の法律上の権利を与えるものであり、お客様は州により異なるその他の権利を有します。

M-Audio/UEの授権された役員を通じて以外は、いかなる個人も団体も本保証の変更、延期、追加を行うことは許可されません。

開発/製造：Ultimate Ears, LLC.
Attn Product Registration Dept.
5 Jenner Street, Suite 100,
Irvine, CA 92618

LISTEN TO YOUR MUSIC

FOR THE
FIRST
TIME

UE

Triple.fi | Super.fi | Metro.fi シリーズ日本輸入代理

アビッドテクノロジー株式会社 | エムオーディオ事業部

〒 460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 2-18-10 ☎ 052-218-0859

www.m-audio.jp

この資料に記載のある会社名ならびに製品名は各社の商標または登録商標です。この資料は 2007 年 3 月現在の情報です。この資料に記載されている製品仕様、内容、価格等は予告なく変更する場合があります。この資料に掲載されている製品画像と実際の製品とは異なる場合があります。この資料に記載されている内容は、情報の提供を目的としたもので内容を保証するものではありません。最新の情報や製品の詳細は www.m-audio.jp で得ることができます。M-Audio 取り扱い製品のお求めは、M-Audio 正規ディーラーでお買い求め下さい。

UGJ-P511-00 - 03/07